

2019年度

**大阪市二次医療圏
「地域医療構想」の進捗状況**

1 大阪市二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要①

新公立病院改革プラン補足調査対象病院が4病院、公的医療機関等2025プラン対象病院が16病院である

●主な医療施設の状況(1)

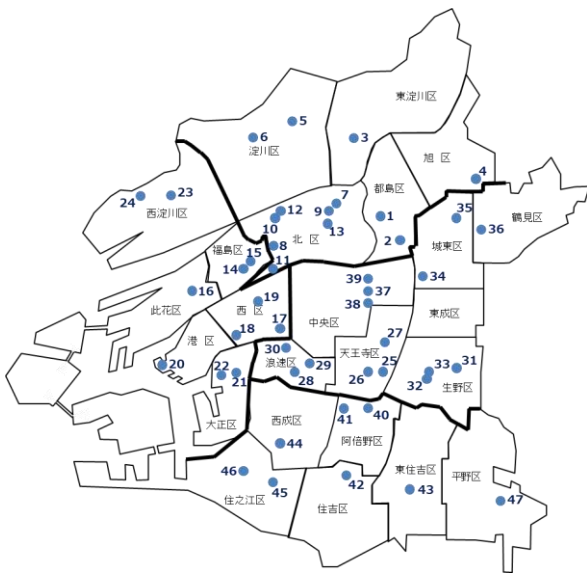
所在地	病 院 名	新 公立 病院 改革 プラン に か か る 補 足 調 査 対 象 病 院	公 的 医 療 機 関 等 2 0 2 5 プ ラン 対 象 病 院	特 定 機 能 病 院	地 域 医 療 支 援 病 院	社 会 医 療 法 人 開 設 病 院	公 的 医 療 機 関 等	府 立 病 院 機 構	在 宅 療 養 後 方 支 援 病 院	が ん 診 療 拠 点 病 院	三 次 救 急 医 療 機 関	災 害 拠 点 病 院	特 定 診 療 災 害 医 療 セ ン タ ー	周 産 期 母 子 医 療 セ ン タ ー	感 染 症 指 定 医 療 機 関	結 核 病 床 を 有 す る 病 院	エ ィ ス 治 療 拠 点 病 院		
北部基本保健医療圏	都島区	大阪市立総合医療センター	○		○	○				□	○	○		□	○		○		
		社会医療法人明生会明生病院				○													
	東淀川区	宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション淀川キリスト教病院	○		○					○				○					
	旭区	社会医療法人真美会中野こども病院				○													
	淀川区	社会医療法人協和会北大阪病院				○													
		大阪市立十三市民病院	○				○											○	
	北区	社会医療法人協和会加納総合病院				○				○									
		健康保険組合連合会大阪中央病院				○													
		社会医療法人行岡医学研究会行岡病院					○												
		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会中津病院				○		○			○								
		一般財団法人住友病院								○	○								
		大阪整肢学院				○			○										
	西部基本保健医療圏	福島区	独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院			○		○			○								
		関西電力株式会社関西電力病院							○	○									
此花区		社会福祉法人大阪暁明館大阪暁明館病院							○										
西区		社会医療法人寿栄会大野記念病院					○			○									
		多根総合病院								○	○		○						
港区		公益財団法人日本生命済生会日本生命病院				○				○	○								
		独立行政法人地域医療機能推進機構大阪みなと中央病院				○			○										
		ほくとクリニック病院																	
大正区		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会泉尾病院				○		○			○	○							
		一般財団法人淀川勤労者厚生協会附属西淀病院								○	○								
	社会医療法人愛仁会千船病院						○		○	○				○					
	医療法人警和会第二大阪警察病院									○									
天王寺区	医療法人警和会 大阪警察病院				○				○	○	○								
	大阪赤十字病院				○		○			□	○	○							
	社会医療法人弘道会なにわ生野病院						○												
浪速区	社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院								○					□					
	社会医療法人寿会富永病院								○										

注：公的医療機関等2025プラン策定依頼時は、地域医療支援病院承認前であったため、「将来に向けた病院のプランに関する調査」に回答

1 大阪市二次医療圏の概要 (1) 医療体制の概要①

● 主な医療施設の状況 (2)

所在地	病院名	新公立病院改革プラン にかかると補足調査対象	公的医療機関等 2025プラン	特定機能病院	地域医療支援病院	社会医療法人開設病院	公的医療機関等	府立病院機構	在宅療養後方支援病院	がん診療拠点病院	三次救急医療機関	災害拠点病院	特定診療災害医療センター	周産期母子医療センター	感染症指定医療機関	結核病床を有する病院	エイズ治療拠点病院	
																		○
東部基本保健医療圏	31 生野区	医療法人育和会育和会記念病院							○									
	32	医療法人同友会共和病院							○									
	33	医療法人味木会味木病院																
	34 城東区	社会医療法人大道会森之宮病院				○				○								
		35 社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院		○		○					○							
	36 鶴見区	社会医療法人盛和本田病院				○												
	37 中央区	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター	○		○			○	○		◇				○			
		38 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター		○		○		○	○		□	○	○					○
		39 国家公務員共済組合連合会大手前病院		○		○		○	○		○							
40 南部基本保健医療圏	40 阿倍野区	西日本旅客鉄道株式会社大阪鉄道病院																
		41 大阪市立大学医学部附属病院		○	○		○		□	○	○			○			○	
	42 住吉区	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター	○			○		○	○	□	○	○		○			○	
	43 東住吉区	医療法人橘会東住吉森本病院		○		○			○									
	44 西成区	医療法人山紀会山本第三病院							○									
	45 住之江区	社会医療法人景岳会南大阪病院					○			○								
46 社会医療法人三宝会南港病院						○												
47 平野区	長吉総合病院								○									
合計			4	16	2	13	15	15	2	18	23	6	7	1	8	1	1	4



2019年5月末時点
【対象病院数174の内訳】
公立病院：4
公的病院：16
民間等病院：154

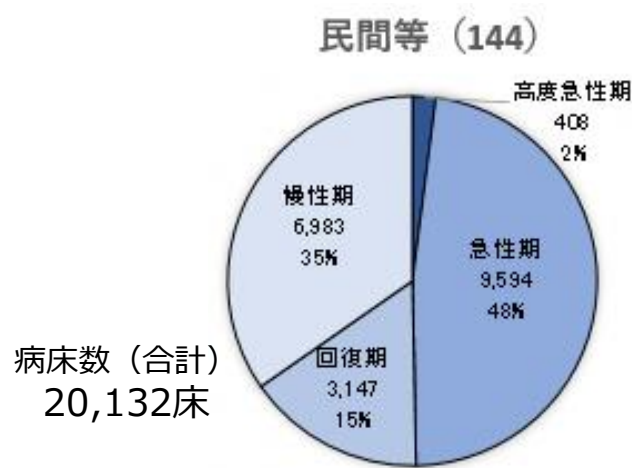
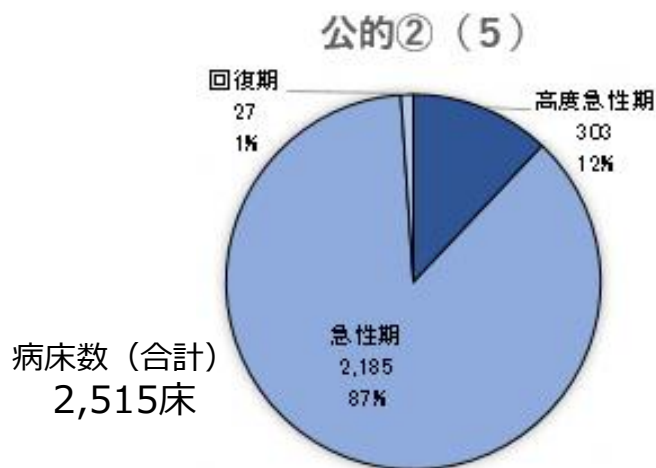
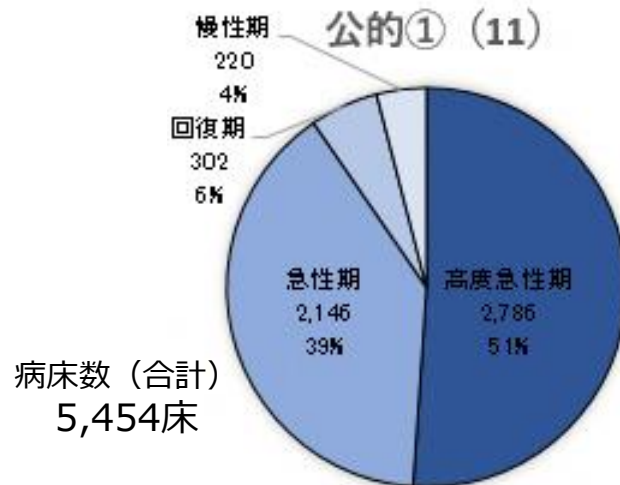
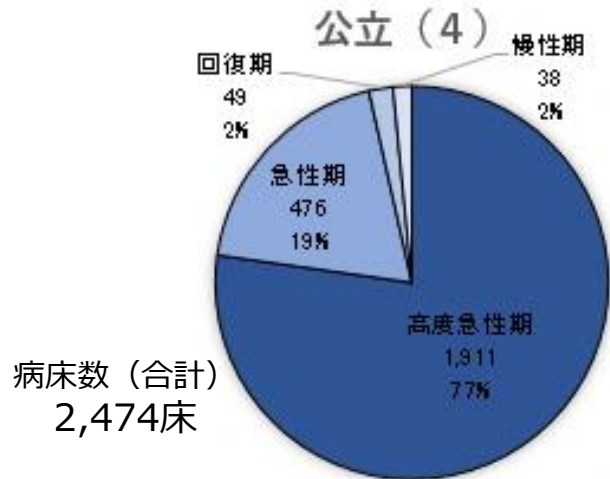
※ 「がん診療拠点病院」の◇印は「都道府県がん診療連携拠点病院(国指定)」、□印は「地域がん診療連携拠点病院(国指定)」、○印は「大阪府がん診療拠点病院(府指定)」を示す。
 ※ 「周産期母子医療センター」の□印は「総合周産期母子医療センター」、○印は「地域周産期母子医療センター」を示す。

参照：第7次大阪府医療計画一部改編

1 大阪市二次医療圏の概要 (1) 医療体制の概要②(公民別病床機能)

公立・公的病院では高度急性期～急性期が大半を占め、民間等病院では回復期～慢性期が約半数を占める

●公民別病床数の病床機能別割合(病院プラン等提出164病院(公立4、公的①※11、公的②※5、民間等144))



※公的①：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院除く）

公的②：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院）

参照 2019年度病院プラン調査等（速報値）

1 大阪市二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要②(公民別病床機能)

【参考】基本医療圏別病床機能別割合

大阪市北部基本医療圏の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	823	376	0	0	1,199
公的①	101	643	111	100	955
公的②	204	1,037	27	0	1,268
民間等	199	2,191	483	1,178	4,051
合計	1,327	4,247	621	1,278	7,473

大阪市西部基本医療圏内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	0	0	0	0	0
公的①	44	979	145	60	1,228
公的②	49	301	0	0	350
民間等	55	2,083	488	1,014	3,640
合計	148	3,363	633	1,074	5,218

大阪市東部基本医療圏内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	500	0	0	0	500
公的①	1,707	524	46	60	2,337
公的②	42	526	0	0	568
民間等	128	3,025	1,169	2,056	6,378
合計	2,377	4,075	1,215	2,116	9,783

大阪市南部基本医療圏内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	588	100	49	38	775
公的①	934	0	0	0	934
公的②	8	321	0	0	329
民間等	26	2,295	1,007	2,735	6,063
合計	1,556	2,716	1,056	2,773	8,101

大阪市北部基本医療圏内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)【割合】

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	68.6%	31.4%	0.0%	0.0%	100.0%
公的①	10.6%	67.3%	11.6%	10.5%	100.0%
公的②	16.1%	81.8%	2.1%	0.0%	100.0%
民間等	4.9%	54.1%	11.9%	29.1%	100.0%
合計	17.8%	56.8%	8.3%	17.1%	100.0%

大阪市西部基本医療圏内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)【割合】

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立					
公的①	3.6%	79.7%	11.8%	4.9%	100.0%
公的②	14.0%	86.0%	0.0%	0.0%	100.0%
民間等	1.5%	57.2%	13.4%	27.9%	100.0%
合計	2.8%	64.4%	12.1%	20.6%	100.0%

大阪市東部基本医療圏内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)【割合】

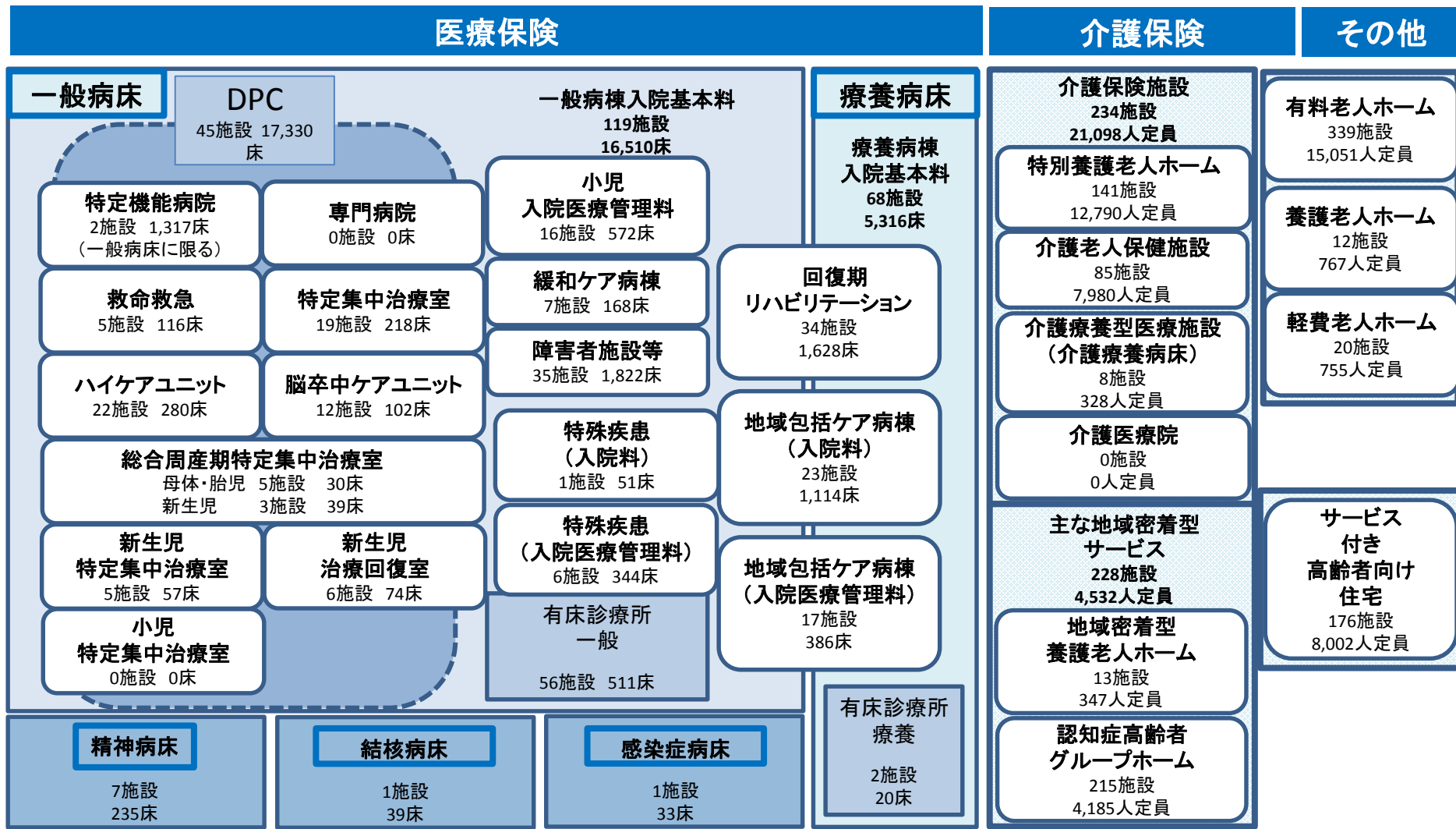
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
公的①	73.0%	22.4%	2.0%	2.6%	100.0%
公的②	7.4%	92.6%	0.0%	0.0%	100.0%
民間等	2.0%	47.4%	18.3%	32.2%	100.0%
合計	24.3%	41.7%	12.4%	21.6%	100.0%

大阪市南部基本医療圏内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)【割合】

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	75.9%	12.9%	6.3%	4.9%	100.0%
公的①	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
公的②	2.4%	97.6%	0.0%	0.0%	100.0%
民間等	0.4%	37.9%	16.6%	45.1%	100.0%
合計	19.2%	33.5%	13.0%	34.2%	100.0%

1 大阪市二次医療圏の概要 (1) 医療体制の概要③(医療介護提供体制)

医療・介護提供体制は、多くの機能・施設から構成されている



参照 「医療保険」病床機能報告(2018年7月1日時点の医療機能:2019年2月集計)ただし、次項目は右記のとおり、精神病床・結核病床・感染症病床(大阪府健康医療部資料(2019年3月31日現在))「介護保険・その他」大阪府福祉部資料(認知症高齢者グループホームは2018年1月1日現在、その他施設は2019年4月1日現在)

1 大阪市二次医療圏の概要 (2) 地域医療構想の進捗状況

病床数の必要量における回復期機能を担う病床数の確保には、約8%の回復期機能への転換が必要と推計できる(2017年度は約10%)

● 病床機能報告と病床数の必要量の比較

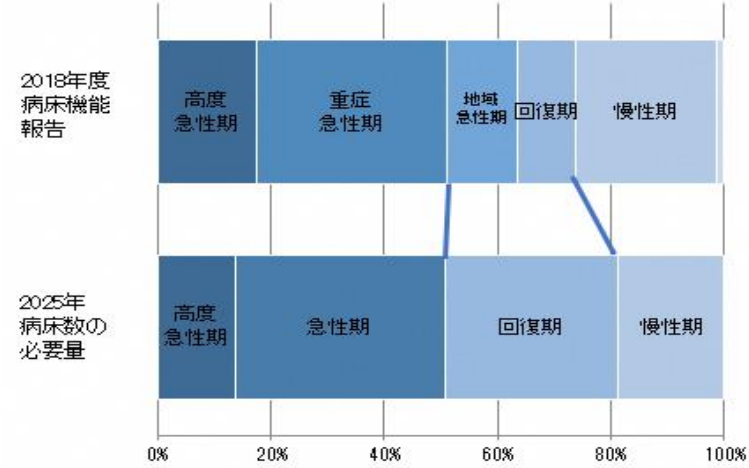
(単位:床)

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計	
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期						
病床数の必要量	2013	4,335	10,624			8,525	7,003			30,487	
病床機能報告	2014	5,304	16,594			2,162	6,505	160	2,545	33,270	
病床機能報告	2015	4,561	16,101			2,446	7,276	400	2,222	33,006	
病床機能報告	2016	5,326	15,804			2,515	7,336	296	1,522	32,799	
病床機能報告	2017	5,828	15,279	10,752	781	3,746	2,809	8,013	193	76	32,198
病床機能報告【暫定】	2018	5,566	14,375	10,589	241	3,545	3,230	7,857	395	661	32,084
病床機能報告【最終】	2018	5,566	14,826	10,845	0	3,981	3,275	7,920	439	58	32,084
病床数の必要量【既存病床数内】	2025	4,413	11,939				9,916	6,006			32,274
病床数の必要量【オリジナル】※	2025	4,745	12,838				10,662	6,458			34,703

※地域医療構想策定ガイドラインに基づく数値

● 病床機能報告(2018年度)と病床数の必要量(2025年)の割合の比較

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	未報告等	
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期					
病床機能報告	2017	18.1%		33.5%	2.4%	11.7%	8.7%	24.9%	0.6%	—
病床機能報告【最終】	2018	17.4%		33.9%	0.0%	12.4%	10.2%	24.7%	1.4%	—
病床数の必要量	2025	13.7%	37.0%			30.7%	18.6%			



サブアキュート・ポスト アキュート・リハビリ機能の現状と将来の予測

① 病床機能報告(地域急性期+回復期)

2017年度	20.4%
2018年度(最終)	22.7%

② 病床数の必要量(回復期)

30.7%

割合の差
8.0%
(約2,600床)

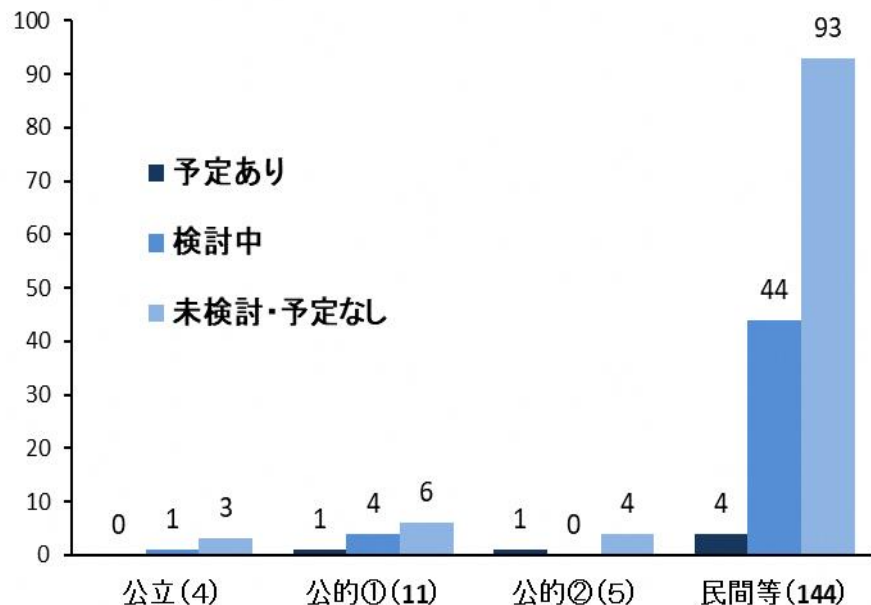
1 大阪市二次医療圏の概要 (3) 地域医療構想の現状と課題

	病床の現状	患者受療・医療機能状況	今後の検討事項
高度急性期から急性期(急性期一般)	○人口10万当たりの病床数は、多くの入院料で府を上回っており、自己完結率は8割程度と高く、流入超過の傾向	○「急性期一般入院料2～7(一般病棟10対1)」の病床数は1割以上減少し、また2015年度と比べ、自己完結率と流入超過の傾向は低下	○引き続き他圏域との流出入の状況等に留意しながら、急性期の医療提供体制のあり方について検討が必要
急性期(地域一般)から回復期	○人口10万当たりの病床数は、多くの入院料で府を上回るか、ほぼ同程度 ○「地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料」の病床数は、2015年度に比べ、約1割増加	○各入院料や肺炎・大腿骨頸部骨折の自己完結率は7～8割程度で、2015年度の流入超過から流出超過の傾向	○引き続き急性期病棟における「地域急性期」機能の状況や、回復期機能への転換にも留意しながら、検討が必要
長期療養(慢性期)	○人口10万当たりの病床数及び病床稼働率は、概ね府と同程度 ○「介護療養病床」が2割以上減少	○多くの入院料の自己完結率は6～7割であり、また流出超過の傾向がみられ、2015年度に比べ、自己完結率は低下し、流出超過の傾向	○引き続き療養病床の介護施設への転換の状況にも留意しながら、検討が必要

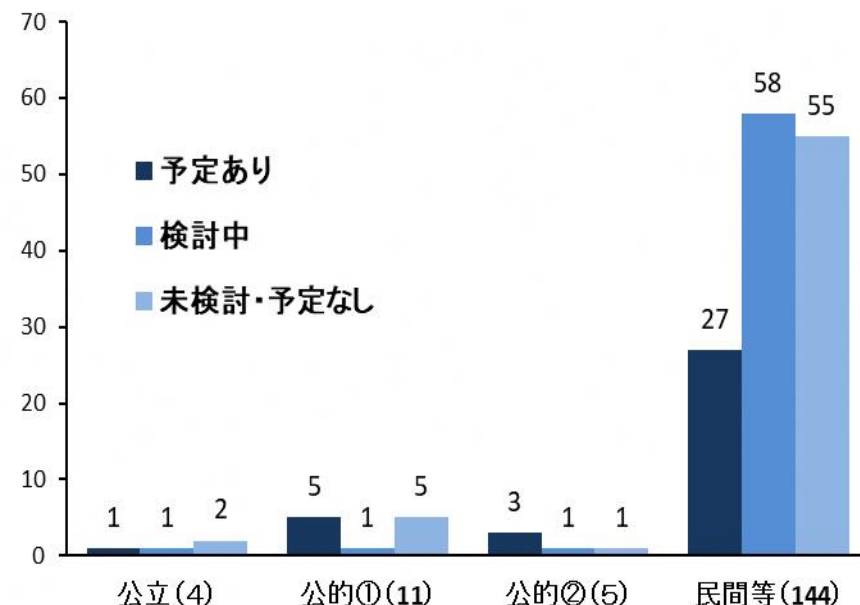
2 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

約6割の医療機関が、2025年に向けた建物・設備の整備・改修について、予定があるか、検討中となっている

●2025年に向けた診療科の見直しの予定の有無



●2025年に向けた建物・設備の整備・改修予定の有無

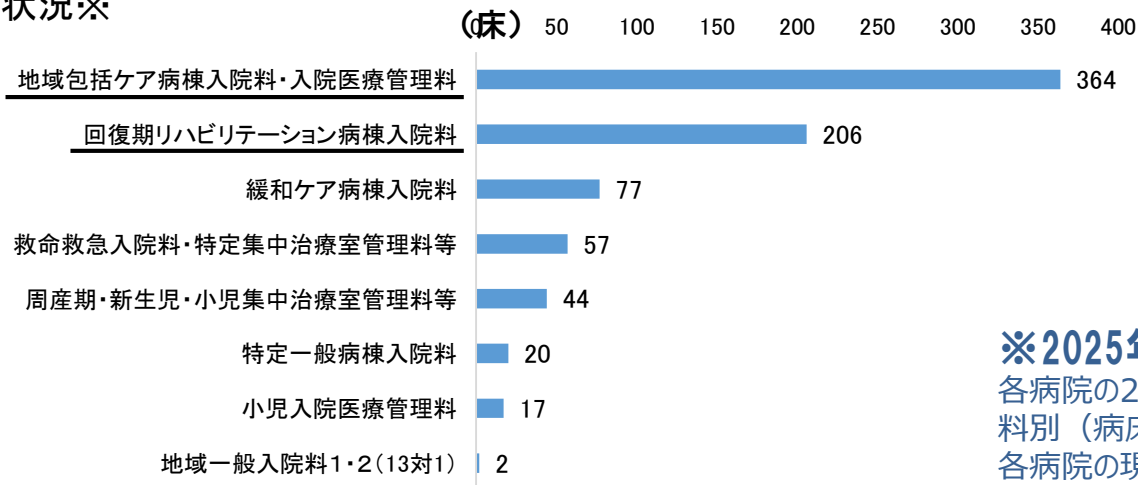


参照 2019年度病院プラン調査等（速報値）

2 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

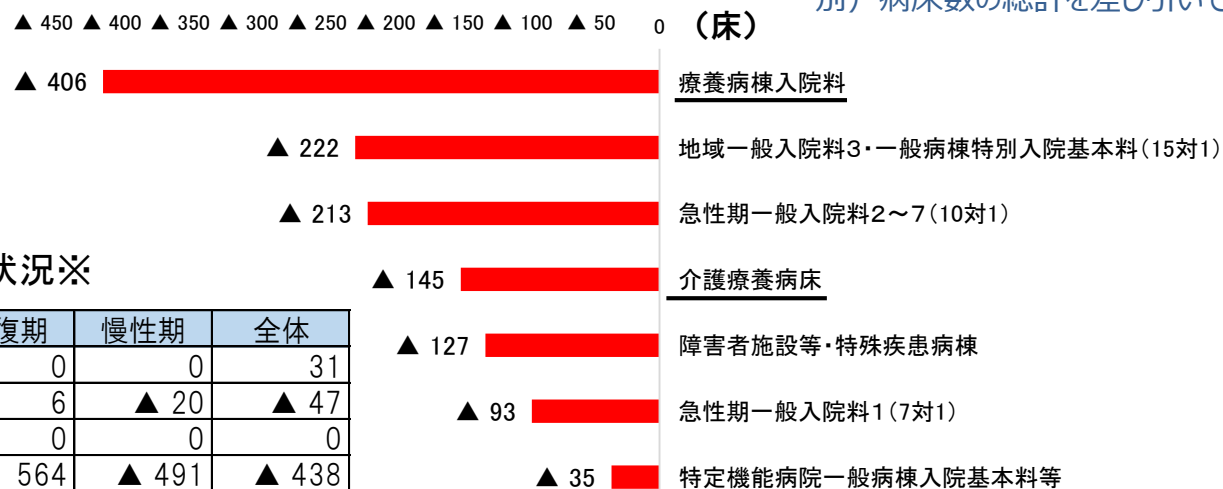
2025年に向け病院が検討している病床機能等の変更は、一部を除き、地域医療構想が目指す病床機能分化の方向性と一致している

●入院料別の検討状況※



※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している 入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出



●公立・公的・民間別の検討状況※

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	22	9	0	0	31
公的①	▲ 631	598	6	▲ 20	▲ 47
公的②	▲ 36	36	0	0	0
民間等	77	▲ 588	564	▲ 491	▲ 438
合計	▲ 568	55	570	▲ 511	▲ 454

2 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

●【参考】基本医療圏別病床機能の検討状況※

大阪市北部基本医療圏内の病院の病床機能検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	▲ 34	9	0	0	▲ 25
公的①	▲ 47	▲ 2	▲ 15	0	▲ 64
公的②	5	▲ 5	0	0	0
民間等	68	▲ 183	132	▲ 36	▲ 19
合計	▲ 8	▲ 181	117	▲ 36	▲ 108

大阪市西部基本医療圏内の病院の病床機能検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	0	0	0	0	0
公的①	0	51	21	▲ 20	52
公的②	▲ 41	41	0	0	0
民間等	0	▲ 51	36	▲ 2	▲ 17
合計	▲ 41	41	57	▲ 22	35

大阪市東部基本医療圏内の病院の病床機能検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	0	0	0	0	0
公的①	▲ 584	549	0	0	▲ 35
公的②	0	0	0	0	0
民間等	9	▲ 94	200	▲ 113	2
合計	▲ 575	455	200	▲ 113	▲ 33

大阪市南部基本医療圏内の病院の病床機能検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	56	0	0	0	56
公的①	0	0	0	0	0
公的②	0	0	0	0	0
民間等	0	▲ 260	196	▲ 340	▲ 404
合計	56	▲ 260	196	▲ 340	▲ 348

※2025年に向けた検討状況

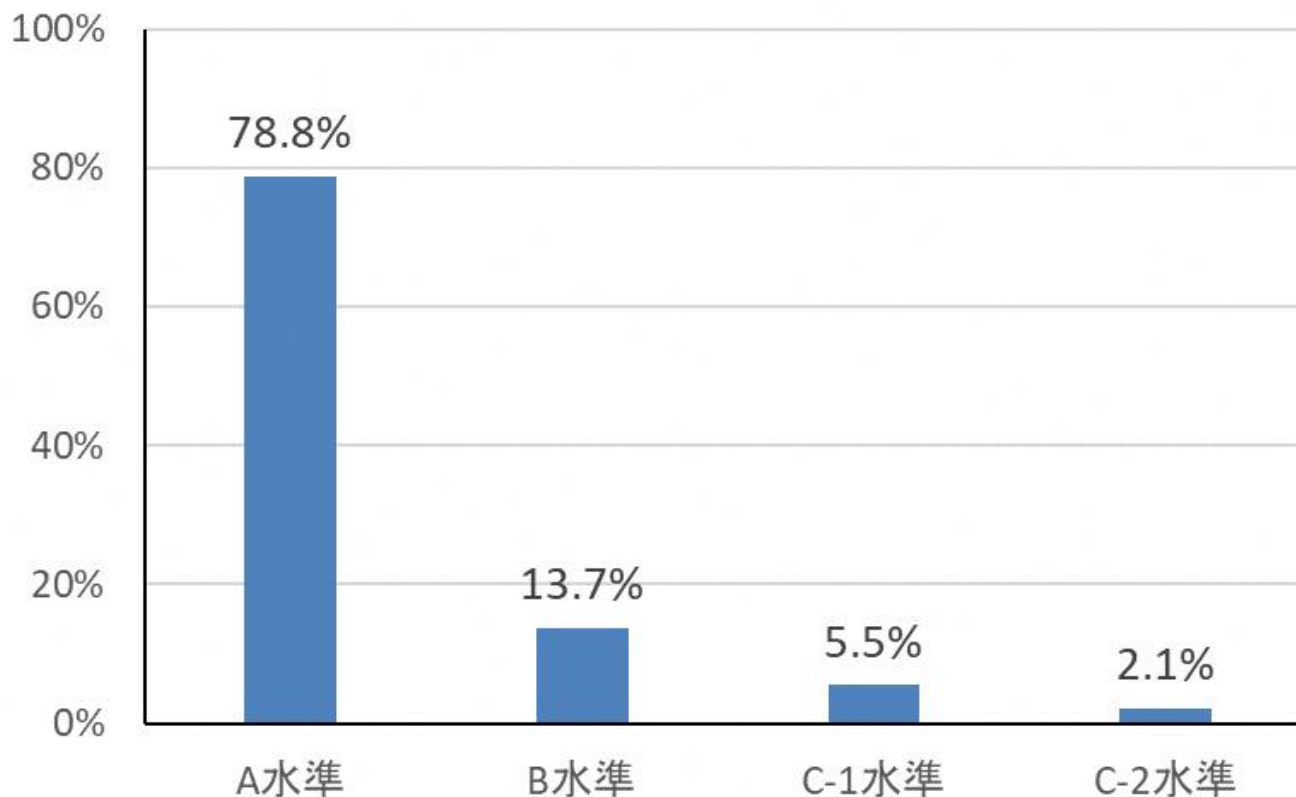
各病院の2025年に検討している 入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

参照 2019年度病院プラン調査等（速報値）

3 2024年(医師の時間外労働規制開始年)に向けた対応の検討状況

多くの病院がA水準での対応を検討しているが、一部、B水準、C水準の対応を検討している病院がある

●時間外労働規制に対する対応検討状況(145病院に対する調査(複数回答可))



参照 今後の医師の確保の見通し調査(第2回病院連絡会)